

令和7年度

障がい児者・救護施設課程 基礎コースⅠ

～新任職員の今だからこそ
学ぶべきこと～

2日間の研修で職員相互の横の連携を深め、積極的な情報交換も図りながら、障がい児者施設で働く初任者職員に求められる知識や技術を修得することを目的に開催します。

対象

障がい児者・救護福祉施設に勤務している**2年以下の職員** (非常勤職員含む)

① 通所コース 就労支援・生活介護等

② 入所コース 入所支援・救護・共同生活援助等

日時

(1日目)

①② 共通コース

令和7年6月12日(木)13:00~17:00

■障がい者支援の専門性とは何か

① 通所コース

② 入所コース

日時

(2日目)

令和7年6月19日(木) 令和7年6月30日(月)

10:00~16:00

10:00~16:00

■利用者主体の支援について

■支援者として大切にしたいこと

定員
各コース
30名
(先着)

- ・2日間の研修です。2日目は通所コースと入所コースがありますので、申込時に該当するコースを選択してください。プログラムの詳細は次頁をご参照ください。
- ・2日間の研修ならびに人権研修 (オンデマンド形式にて予定。後日案内) を受講された方には修了証書を発行いたします。

会場

1日目 大阪府社会福祉会館 301 (大阪府中央区谷町7丁目4-15)

2日目 大阪社会福祉指導センター4階 研修室1 (大阪府中央区中寺1-1-54)

申込締切

5月21日(水)17:00

受講料

8,000円(税込)

- ・申込締切までに下記申込フォームよりお申し込みください。
- ・定員を超えるお申し込みをいただいた場合は、センター所長により抽選とします。
- ・受講可否は申込締切後、1週間以内にメールでご連絡差上げます。
- ・1施設複数名でお申し込みいただいた場合は、定員次第で調整をさせていただく場合がございます。

研修申込フォームは
こちら

プログラムの
詳細は
2頁目参照

お問い合わせ

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター
研修グループ TEL:06-6762-9035

研修プログラム（予定）

2日間＋人権研修（オンデマンド形式にて予定。後日案内）対象の研修です。

2日目は**通所コース**と**入所コース**がありますので、申込時に該当するコースを選択してください。

【1日目（共通コース）】 6月12日(木)13:00～17:00

時間	コースの概要	講師
13:00～ 17:00	障がい児・者支援の専門性とは何か 目指すべき支援のあり方、虐待防止と権利擁護の視点について学び、 初任者の今だからこそ磨くことのできる専門性を身につける。 【キーワード】 ・利用者支援の本質・個人の尊厳の尊重・肯定的人間観（エンパワメントとストレングス） ・処遇から援助、支援へ・さまざまな自立支援・権利擁護・意思決定支援 ・専門職として	関西福祉科学大学 関西女子短期大学 学長 津田 耕一 氏

【2日目（通所コース）】 6月19日(木)10:00～16:00

時間	コースの概要	講師
10:00～ 12:30	利用者主体の支援について 障がい福祉制度について学び、施設での取り組み事例から、利用者を知ることの重要性和利用者本人にとってのより良い支援について考える。 【キーワード】 ・障がい福祉の制度の変化・通所施設の特徴・意思決定ガイドライン ・最善の策とは・“働く”ことの意味・利用者の人権と虐待防止の取り組み	社会福祉法人さつき福祉会 さつき障害者作業所 主任 吉村 博之 氏
12:30～ 13:30	昼休憩	
13:30～ 16:00	支援者として大切にしたいこと 現場職員の目線から考える仕事の魅力や現場での気づきや工夫を聞き、 支援者自身が、楽しみをもって働くことの大切さを知る。 【キーワード】 ・私たちの仕事とは・仕事で大切なポイント・「楽しく働く」ために ・支援の中での悩み・職員集団作り・価値観や考えの違い	

【2日目（入所コース）】 6月30日(月)10:00～16:00

時間	コースの概要	講師
10:00～ 12:30	利用者主体の支援について 障がい福祉制度について学び、施設での取り組み事例から、利用者を知ることの重要性和利用者本人にとってのより良い支援について考える。 【キーワード】 ・障がい福祉の制度の変化・入所施設の特徴・意思決定ガイドライン ・最善の策とは・“働く”ことの意味・利用者の人権と虐待防止の取り組み	社会福祉法人北摂杉の子会 知的障害者生活施設 萩の杜 副部長 池田 裕哉 氏
12:30～ 13:30	昼休憩	
13:30～ 16:00	支援者として大切にしたいこと 現場職員の目線から考える仕事の魅力や現場での気づきや工夫を聞き、 支援者自身が、楽しみをもって働くことの大切さを知る。 【キーワード】 ・私たちの仕事とは・仕事で大切なポイント・「楽しく働く」ために ・支援の中での悩み・職員集団作り・価値観や考えの違い	社会福祉法人北摂杉の子会 地域生活支援部 部長 伊名岡 宏 氏

“日常業務をどう捉えるか”
という言葉が印象的だった。
支援者として、何を大切にしたい
か、改めて考えることができ、
自分の軸を持って仕事が
できそうだと感じた。

過去の受講者の声



2日間の研修でもう一度、
自分の支援について見直そう
と強く思いました。
研修を受けられて本当に
よかったです。